

第1回東広島市陸上競技選手権大会 競技注意事項・連絡事項

告

日々、新型コロナウイルス感染症の状況は変化しています。

当競技会は、広島県、東広島市、東広島市教育委員会の集会等の参加についての指示に従い運営・中止の判断を行います。

実施する場合、原則個人参加のため、個人が提出する「体調チェックシート」により判断を行います。感染者、濃厚接触者となった場合は、参加しないでください。

なお2週間以内の、明らかに予防接種の副反応と見られる症状につきましては、記録表に明記し、無理のないよう参加することができる。その場合は大会側は責任を負わない。

- (1) 本競技会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて実施する。
- (2) 大会主催者は、競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。
- (3) ウイルス性の感染症等や悪天候を含む、競技会の運営および安全確保に支障をきたす不可抗力事態が発生、または発生する恐れがある場合は、主催者は必要に応じて大会中止、一部中止、日程変更、試技回数等を含む競技会の内容を変更することがある。
- (4) 感染症拡大防止の為、競技者・役員・観客は、会場に到着するとロビーで体調チェックシートを提出し、リストバンドをもらい選手以外は手首に付け、選手は競技に支障のない限り手首に付け支障がある場合は常に提示できる場所に付けて入場する、以後はリストバンドを見せて再入場もできる。招集は、リストバンドを見せ、トラック種目は雨天練習場、フィールドは現地に集合し、コールを完了させること。団体受付は行わない。ただし領収書などの手続きは受付で行う。**
- (5) 「密」を防ぐためできるだけ個人で行動し、**競技時間に合わせ来場し、競技終了後は早めに退場**すること。なお8位入賞者は表彰後に退場すること。
- (6) 「密」を避けるため、競技結果の貼り出しは行わず、結果確定後ただちにアスリートランキング(HP)で公表する。
- (7) 表彰は、1位から3位はメダル、8位まで賞状を授与するので、準備でき次第アナウンスをするので、正面スタンド下に集合すること。
- (8) 招集時間については、以下の通りとし、遅れた場合は、棄権とみなし競技できない。また競技者系の指示に従うこと。
招集場所は、トラック競技は、雨天練習場、フィールド競技は現地とする。

トラック競技		フィールド競技	
招集開始 (点呼開始)	招集完了 (移動時刻)	現地招集開始 (点呼開始)	現地招集完了
30分前	20分前	40分前	30分前

- (9) 用器具は、主催者が準備した物を使用するが、棒高跳びポールは各自用意した物で競技開始前に検定を受け使用許可が出た物のみ使用できる。
- (10) アスリートピプスは、各自の登記登録番号(令和3年度)を既定の大きさに作成した物を胸背部に付けること。(小中学生は学校名・クラブ名でよい。)走高跳、棒高跳、走幅跳はどちらか一方で可。

- (11) 競技中の傷害については、主催者は応急処置のみとする。
(大会側も保険に入るが、各個人や参加団体に加入していることが望ましい。)
- (12) 当日の追加参加は、受け付けない。
- (13) 競技に使用するシューズは、日本陸上競技連盟の規定に準ずる。
- (14) 棒高跳・走高跳の試技ラインは、参加者に応じて設定する。
- (15) 各チームの引率者で、競技審判員として協力できる方は、受付にお越しく下さい。
- (16) 主催者は個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づいて取り扱いいたします。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成会議及び作成記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。
- (17) 会場にお越しの皆様にお車の駐車場のお願いとして、運動公園の駐車場以外（緑地帯並びに道路の脇）への駐車は指定管理の方から厳重に注意勧告を受けているので、駐車場以外への駐車は行わないこと。
- (18) **大会中止の条件**
- ①新型コロナウイルス感染症で緊急事態宣言を含む中止をせざるを得ない対策が発令された場合。
 - ②記録会当日、午前6時の時点で東広島市に「大雨警報・洪水警報・暴風警報」のうち1つでも発表されている場合。
 - ③記録会前日午後5時以降から開始までに東広島市に「震度5弱以上の地震」が発生した場合。
 - ④豪雨被害で会場が使用できない場合
- (19) ウォーミングアップは、多目的グラウンド及び陸上競技場周辺で気をつけてアップをすること。開場7時00分から8時50分までは競技場内を使用することができる。
- (20) **新型コロナウイルス感染防止について**
- ※新型コロナウイルス感染予防対策について
- ① 本大会は、日本陸連「陸上競技活動再開についてのガイダンス」に沿って競技会運営を行う。ガイダンス最新版は、日本陸連ホームページに掲載されているので、大会参加者は必ず事前に確認し感染症対策を徹底したうえで参加すること。
 - ② 大会1週間前～前日までの事前の取り組み当日提出すること。
競技者、役員、審判、観客＝JAAF大会前：提出用体調管理表・症状チェック表
 - ③ 本大会の観戦について 本大会は、安心・安全な大会実施を基本として運営を進めるため次の通りとする。競技者はメインスタンド・サイドスタンドに入場することができる。その場合リストバンドを提示すること。また応援の際は、密を避け、応援は拍手のみで行う事。観客も体調チェックシートを提示された方には、リストバンドを渡すので、正面スタンド及びサイド及びバックの芝生スタンドに入場することができる。なお芝生スタンドに入場の際は、出入り口を一か所としているため、ロビーを通過し運営の妨げとならないように移動すること。
- (21) 2種目に同時に出場する選手は、フィールドの現地審判員と必ず連携をとりトラック種目に参加すること。ただし競技規則によりフィールド種目を進行する。
- (22) リレーのオーダーは、受付時に受け取り、60分前までに、招集所に提出すること。